

スマートプラグ SZ-ESW02N iJP

※ 以下記載の画面イメージは一部実際と異なる場合がございます。

目次

スマートプラグ SZ-ESW02N iJP.....	1
● 作業の前にご確認いただきたいこと.....	2
1. 各部の名称と機能.....	2
2. 同封物について.....	2
3. 設置場所を確認する.....	2
4. その他設置前に必ずご確認くださいこと.....	3
● デバイスを設置する.....	4
5. 電源に接続する.....	4
6. インストーラーアプリでデバイス登録準備をおこなう.....	4
7. インストーラーアプリでデバイス登録をおこなう.....	4
8. インストーラーアプリで電波強度・品質を確認する.....	4
9. インストーラーアプリでデバイスの動作を確認する.....	5
10. デバイスを本設置する.....	5
11. インストーラーアプリでおこなう作業を完了させる.....	6
12. Taprica の設定をする.....	7
13. インストーラーアプリでペアリング解除する.....	9
● 品質確認（Zigbee 中継器機能として利用する場合）.....	9
14. 対象デバイスが Zigbee 中継器配下となっているか/電波強度が十分か確認する.....	9
● デバイスをリセットする.....	9

● 作業の前にご確認いただきたいこと

1. 各部の名称と機能



- ①ペアリングボタン（ON/OFF スイッチと共用）
- ②LED ランプ

無線周波数	2.4GHz 帯
LED 表示	緑×1
入力電力	100V+/-10%, 50Hz/60Hz
最大負荷	10A 抵抗負荷 / 300W 白熱灯
動作温度	0℃~40℃ (32°F~104°F)
保存温度	-20℃~70℃ (-4°F~158°F)
保護動作	過電圧保護、過電流保護

2. 同封物について

同封物は以下となっております。

No	品名	数量
①	本体	1
②	セットアップガイド	1

3. 設置場所を確認する

(1) 共通事項

電源タップ利用、壁コンセント直挿し、どちらで使用しても無線的な性能差はほぼありませんが電源タップに挿して利用する場合は、電波状況を安定させるためタップを動かす事がないかを確認した上で設置してください。



(2) Zigbee 中継器機能利用時

中継効果を最大限発揮するためにゲートウェイと Zigbee デバイスの間に設置する必要があります。
階を跨ぐ場合などは、上下直接の位置より、階段などの吹き抜け箇所に設置すると効果的です。

(3) スマートプラグ機能利用時

- ◆ 容量 300W まで対応できます。
- ◆ 300W を越えると安全回路が作動して自動で OFF となります^{※1}。
- ◆ **電気用品安全法（PSE 法）に基づき、スマートプラグの遠隔操作には、電気ストープなどの危険が発生し得る機器を接続しないなどの使用許諾条件があり、この条件に同意していただくことが必ず必要です^{※2}。**

※1 スマートプラグ機能使用時の注意

- ① 最大電力使用量が **1000 W 以上**（抵抗負荷）の機器（電源投入時に電流が大量に発生する白熱灯やモーターのある機器は 300 W 以上）には接続しないでください。
- ② 最大負荷電力を超えた場合は内部の保護回路が働き、リレーが OFF（スマートプラグからの電源供給が OFF）になるとともに、LED ランプが点滅します。

※2 電気用品安全法（PSE 法）について

参考：経産省 HP 「遠隔操作可能な配線器具の範囲拡大について」

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/topics.html#8>

なお、中継器機能のみ使用し、スマートプラグ機能は使用しない場合でも、スマートプラグ機能を供給していることには変わらないため、電気用品安全法（PSE 法）に基づくスマートプラグ使用に関する「同意」は必要です。

4. その他設置前に必ずご確認ください

(1) Zigbee 中継器機能

- ◆ ゲートウェイとペアリングすることで中継器としての機能が有効になります。
- ◆ ペアリングさえおこなえば、自動で付近の Zigbee デバイスを中継します。
- ◆ Zigbee 中継器経由になるよう（ならないよう）に指定することはできません。
デバイスとの通信強度がより強い（≒距離が近い）Zigbee 中継器（ゲートウェイ含む）と自動的に結びつきます。
- ◆ 中継器機能の ON/OFF の操作はできません。AC コンセントに接続されている限り有効です。
- ◆ Zigbee 中継器どうしの縦続接続について、2 台まで動作確認はとれておりますが、推奨はいたしません。

(2) 電気用品安全法（PSE 法）に基づく重要説明事項

スマートプラグを安全にご利用いただくために、**必ず**お客さまに以下のご案内をしてください。

- ◆ **Zigbee 中継器機能を利用する場合、設置場所から移動させない**
- ◆ **Zigbee 中継器機能を利用する場合、コンセントから抜かない**
- ◆ **スマートプラグ機能を利用する場合、接続する家電は 300W まで**

● デバイスを設置する

5. 電源に接続する

本体を AC コンセントに差し込んでください。デバイスのペアリングが完了するまでは本設置場所ではなく、ゲートウェイの付近のコンセントを利用することを推奨します。

6. インストーラーアプリでデバイス登録準備をおこなう

※ 新規登録・契約検索または作業依頼受付を完了させ、GW 登録がされている状態であることを確認してください。

デバイスがペアリングモードであることを確認します。

ON/OFF ボタンを押しながら AC コンセントに挿入し、LED が点灯している状態で 4 秒以内にボタンを離してください。

LED ランプが 3 回連続点滅を 5 秒に 1 回の頻度で繰り返していればペアリングが可能なペアリングモードです。

7. インストーラーアプリでデバイス登録をおこなう

「インストーラーアプリガイド」の「デバイス新規登録」の「ZigBee」をご確認ください。

8. インストーラーアプリで電波強度・品質を確認する

[電波強度・品質測定]ボタンを押し、電波強度を確認してください。

※ 実際に取り付けるコンセントまでデバイスを移動させ、**オン/オフ動作をした上で**仮測定をおこなってください。

電波強度が規定値から大きくはずれる場合、設置場所を再検討してください。

➤ 電波強度規定値

※ 規定値外の場合、サポート対象外です。

通信規格	RSSI
Zigbee	-75 dBm 以上 ※参考 Good : -55 dBm 以上 Normal : -75 dBm 以上-55 dBm 未満 Bad : -75 dBm 未満

9. インストーラーアプリでデバイスの動作を確認する

- (1) [デバイス動作確認・設定値変更]ボタンを押し、確認したいデバイスの[動作確認]ボタンを押す
- (2) デバイスを動作させ、[更新]ボタンを押し、動作履歴が反映されるかを確認する

※ 動作が反映されない場合は、ペアリングが失敗している可能性があります。

[デバイス削除]から一度デバイス削除をおこない、もう一度デバイスをペアリングモードにした上で再度ペアリングをおこなってください。

※ プラグのボタンでスマートロックの遠隔操作もおこなえ、簡易的な遠隔動作確認もおこなえます。

The screenshot shows the 'インストーラー向けアプリ' (Installer App) interface. On the left is a navigation menu with options like '新規契約登録', '契約検索', 'GW新規登録', 'GW FWアップデート', 'GW Zigbee Moduleアップデート', 'GW削除', 'GW故障交換(RMA)', '家電コントローラー登録', '家電コントローラー削除', 'デバイス登録', 'デバイス動作確認', '電波強度・品質測定', 'ユーザー引き直し', and '作業依頼受付'. The main area displays 'デバイス名 : Smart Plug' and two control buttons: a power-on icon (lightbulb) and a power-off icon (lightbulb with a slash). Below this is a table of device actions:

発生時間	デバイス種別	処理名	イベント操作	値
2021-06-07 21:14:23	スマートプラグ	開閉切り替え	操作	スイッチオフ
2021-06-07 21:14:19	スマートプラグ	開閉切り替え	操作	スイッチオン

At the bottom of the main area are two buttons: '戻る' (Back) and '更新' (Refresh).



遠隔で電源をオンにするボタンです。



遠隔で電源をオフにするボタンです。

10. デバイスを本設置する

- (1) デバイスを本設置する

設置場所の条件を満たす場所に本設置してください。

- (2) インストーラーアプリで[電波強度・品質測定]ボタンを押し、本設置後の電波強度を確認する

本設置後にオン/オフ動作をした上で再度[電波強度・品質測定]をおこなってください。

11. インストーラーアプリでおこなう作業を完了させる

状況に応じて以下のどちらかをしてください。

「インストーラーアプリガイド」もあわせてご確認ください。

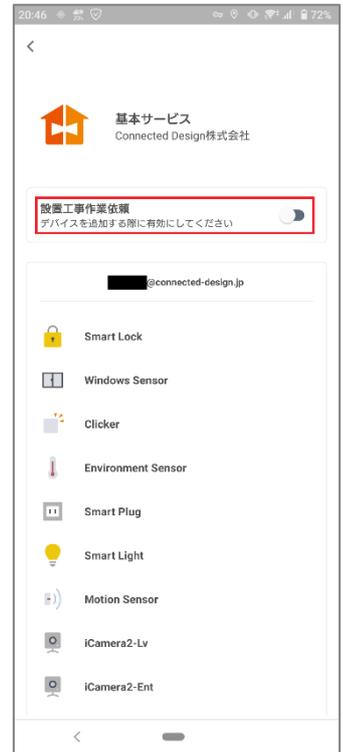
Connected Portal を利用の場合は「Connected Portal ご利用手順書」もご確認ください。

(1) 新規で GW 登録を含め作業をおこなった場合

- i. インストーラーアプリで[ユーザー引き渡し]ボタンを押す。
- ii. Taprica に表示される QR コードを読み込む。または、ユーザーアカウントのメールアドレスを入力する。
- iii. インストーラーアプリからデバイスの追加がおこなえないことを確認する。

(2) 既存ユーザーに対して追加デバイス設定をおこなった場合

- i. Taprica で【設定>サービス追加・更新>基本サービス>「設置工事作業依頼」を無効にする】



- ii. インストーラーアプリからデバイスの追加がおこなえないことを確認する

12. Taprica の設定をする

Connected Portal を利用の場合は「Connected Portal ご利用手順書」をご確認ください。

(1) 動作を確認する

追加したデバイスが正常に動作するか Taprica で確認します。センサー系デバイスはセンサー検知が Taprica に反映されるかどうかを、その他デバイスは Taprica でおこなった操作どおりにデバイスが動作するか確認してください。

(2) デバイスをルームに割り当てる

デバイスを部屋に割り当てます。アプリ下部【ルーム】をタップし、【ルームにないデバイス】をタップします。【ルームにないデバイス】画面にてルーム割り当てをするデバイス名をタップ、【デバイス設定】画面にて【ルーム】をタップ、【ルームの選択】画面にて操作する機器が存在する部屋にチェックをいれ、【保存】をタップしてください。【<】をタップし、【ルームにないデバイス】画面まで戻り、必要な機器の割り当てを完了させてください。



※画像は家電コントローラーのルーム割り当て時のものですが、どのデバイスでも画面遷移は同じです【割り当てたいルームがないときは】

ルームを追加することが可能です。【ルーム】画面右上の【+】アイコンをタップ、【ルーム名】画面にて【カスタム名】欄に名前を直接入力してください。



(3) デバイスのルーム割り当てを確認する

アプリ下部【ルーム】をタップし、それぞれのルームにデバイスが正常に割り当てられているか確認してください。

【うまくできないときは】

- ◆ デバイスが割り当てられていない場合、再度直前の手順をおこなってください。
- ◆ 一度ルーム割り当てをしたデバイスを別のルームに移したい場合、該当のルーム（例：【リビング】）画面右上の【歯車アイコン】をタップ、【ルーム設定】画面にてデバイス名をタップし、【デバイス設定】画面からは直前の手順を参考に再度割り当てをおこなってください。



(4) (Zigbee 中継器機能利用時のみ) デバイスを Zigbee 中継器経由にする方法

4.(1)記載のとおり、デバイスは自動的に Zigbee 中継器経由通信をはじめますが、実際には対象のデバイスが Zigbee 中継器経由になるには時間がかかるため、工事時は Zigbee 中継器を設置したのち、中継器経由にしたいデバイスの電池／電源を**いったん**抜き、電池/電源を元に戻すことで強制的に中継器経由への変更をおこなってください

13. インストーラーアプリでペアリング解除する

「インストーラーアプリガイド」の「デバイス削除」をご確認ください。

● 品質確認（Zigbee 中継器機能として利用する場合）

14. 対象デバイスが Zigbee 中継器配下となっているか/電波強度が十分か確認する

(1) インストーラーアプリの【電波強度・品質測定】をタップし、測定をおこなってください



(2) Zigbee 中継器配下のデバイスが表示されますので、当該デバイスが一覧に含まれているか確認してください

【うまくいかないときは】

『●デバイスを設置する 2.(5)（Zigbee 中継器機能利用時のみ）デバイスを Zigbee 中継器経由にする方法』をご参照ください。

(3) Zigbee 中継器経由で接続されているデバイスの電波強度を確認する

(5) と同画面で電波強度を確認してください。

● デバイスをリセットする

(1) ペアリングボタン（ON/OFF スイッチと共用）を押しながら電源コンセントへ本体を差し込みます。

(2) 電源コンセントに差し込んだら、4 秒以内にペアリングボタン（ON/OFF スイッチ）から指を話します。

(3) LED ランプが 3 回連続点滅を 5 秒に 1 回の頻度で繰り返していればリセット完了です。

デバイスは初期状態（ペアリングモード）に戻ります。